

議長



久保田 武

日頃から、真岡市議会への深いご理解とご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

昨年議会では、議会活性化として、新たに広報広聴委員会を設置し、広報紙「みんなの議会」のリニューアルをはじめ、市民団体との座談会、議会見学ツアーなどの活動をスタート致しました。新たな取り組みをとおり、市民との信

頼の絆をより深めていける「議会づくり」を目指してまいります。

今年の干支、壬寅は『厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となる』年とのこと。

困難を乗り越え、市民誰もが、明るい展望を見いだせるよう、初心を忘れず議会活動に努めてまいります。

副議長



七海 朱美

歴史ある旧庁舎が姿を消し、新庁舎が真岡市の新たなランドマークとなった令和3年。

真岡市は一丸となってコロナ禍に対応して参りました。

生理学者ジャレド氏は「人類史は疫病の歴史でもある」と言っています。そして苦悩の中、新しいルールと価値観を生み出してきました。

会議や学校の学習、更に、国際交流においてもオンラインでの実施という大きなオペレーションの変革が行われ進化を生みました。

これからも新しい施策が進められる中、何事にも真摯に真心をもって真実をお伝えして参ります。

今後ともご指導を宜しくお願いいたします。



麦倉 竹明

日頃から皆様のご支援に感謝いたします。コロナ禍により、不安な思いをされている市民の皆様、少しでも安心していただける様、しっかりと議員としての役割を果たしながら、皆様の意見をお聞きしお役に立てる様、活動して参ります。今後とも皆様のご支援、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



大貫 聖子

昨年中もコロナウィルスの影響で不安な日々を過ごされたと思います。そうした中でも真岡市議会として、開かれた議会を目指しいろいろな取り組みをさせていただきました。今年度におきましても、議会の広報広聴に一生懸命取り組んで参ります。



池上 正美

コロナ禍の影響が様々なところで出て来ているとよくお聞きします。政治の原点である子どもから高齢者まで誰もが、安全・安心に暮らせ、活力と魅力あるまち「もおか」になるよう皆様の声を大切に、是々非々を忘れずに全力で市勢発展のために取り組んで参ります。

今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



服部正一郎

皆様の温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

コロナの一刻も早い終息を願い、活気ある郷土真岡を取り戻し、子ども達から後期高齢者まで、すべての市民が、幸福感を享受できる真岡市になるため、道のない所に道を作る精神で、誠心誠意全力で頑張っております。